

私たちの“困った”を、みんなの“シラベル”と一緒に解決してほしい



Aさん

29歳 女性 会社員
亀岡市篠町在住

適度な田舎のほど良い感じが好きで、亀岡に1年前に越してきました。今は京都市にある人材教育関連の会社に勤めていますが、亀岡の方と早く知り合いになって、人を通してまちづくりに関わりたいいな、と思っています。先輩ママ・パパとの繋がりを増やしていきたいのだけど、どこに行けばいいんだろー。
近ごろ、何気ない「日常」をテーマにしたまち歩きにもハマっています。亀岡にお住いの方と結婚し、将来的には子どもを産み育てたいなーと思っているところで、「子育て家族が楽しめるまち歩き」を市役所さんもまきこんで一緒に取り組めたらおもしろいかなと、にやにや顔で構想中。昼休みに立ち寄った京都市の本屋さんで、「赤ちゃんと一緒に、京都おでかけ手帖」を手に取り、おもしろそうだなと思いました。亀岡でも同じような取り組みはあるのかな。それに、お母さんたちがどんな風に取材し、どこで資金調達して出版にこぎつけたかも知りたいなー。

営業畑のサラリーマン生活 30年。そろそろ定年後が気になりだしてきています。60歳できっぱりリタイアしようか、それとも65歳まで嘱託職員として頑張ろうか、悩んでいます。こう見えても、学生時代は野球の大会で優勝経験もある、バリバリの体育会系。今は阪神タイガースを応援しながら呑むのが楽しみとなっています。
このまま、テレビだけが友達ではあまりにも寂しいので、最近は休日に近くの南郷公園を散歩していますが、ふと野鳥の多さに気づきました。野鳥だけでなく、亀岡の自然環境にも大いに興味があります。定年後、何か自分の、気づきや興味を地域に生かすことはできるのでしょうか？
それと、亀岡でセカンドライフを有意義に過ごしている人のお話も聞いてみたいなー。



Bさん

55歳 男性 会社員
亀岡市古世町在住

僕は、京都市内の大学で公共政策を学んでいる学生です。えーと、石川県出身です。地域活性化のために商店街振興を考えることになり、まず、先輩が関わっている亀岡市の商店街の振興策について提案することになりました。テーマはズバリ「インバウンド」、外国人観光客の呼び込みです。
亀岡市は観光資源がたくさんあるみたいで、外国人観光客が増えているとなんとなく聞いているのですが、まずはどんな状況なのか調べないと。できれば、どこの国から、亀岡市内のどんなどこにきているのかが知りたいです。
東南アジアからの観光客も増えているってニュースで聞いたことがあるけど、どんな習慣があるのだろうか。日本との文化の違いで、トラブルになったり、観光客が不自由を感じていることもあると思うんです。その辺りのことも、ぜひ知りたいです。



Cさん

21歳 男性 学生
京都市在住

進行役 田畑昇悟

2007～2013 亀岡市民新聞社で記者を務め、退職後、ガーナでNGO活動。帰国したのち南丹市に移住し、NPO法人テダスで市民団体の支援活動に従事。定住促進ツール「集落の教科書」のプロデュースやテレビ番組「協働みつけた」の制作を行っている。2015年度には、京都市で開かれたシラベル講座の講師を務めた。

企画プロデュース シラベルプラットフォーム

2015年度から京都府庁NPOパートナーシップセンター（パーセン）で始まったナレッジ×DIY「シラベル」講座をきっかけに、参加者や講師として関わった人らが集まり、2016年度に組織。府民やNPO、学生、企業社員、行政職員などが連携し、今あるパーセンや府立図書館などの公共施設を地域の「シラベル」拠点とすることを目指すほか、地域活動に関わる人や団体のシラベルスキルの向上を目的に活動している。



Dさん

33歳 男性 会社員
亀岡市千代川町在住

1歳の子どもの父親です。この春から、食物アレルギーのお子さんが、うちの子どもの保育所に入所されると担当の保育士さんから聞きました。数年前に、小学校で食物アレルギーのお子さんが亡くなったニュースを思い出しました。同じ保育所の保護者として、知っておかなければならないことがあるように思いますが、まず、どこに聞けばよいのかわかりません。保育所から説明があるかもしれませんが、正しい知識を持っておく必要があると感じています。どのように接したらいいのか。声かけは？お遊びは？できれば、経験豊かな方にアドバイスもほしいです。と同時に、他の保育所での取組とか、京都府内で活動している市民有志の支援団体とかの情報も知りたいところです。

わたしのおじいちゃんは、にしべついでん町ちようすんでいます。げんきです。まいにちくるまをうんでんして、おかいものもしています。
きのう、「こうれいしゃのこうつうじこがおおいからしんぱいね」とママがテレビをみていってました。わたしもテレビをみて、こわいとおもいました。こうつうじこはふえているのかな。ふえているならこわいとおもいます。
Eの母親です。子どもがおじいちゃんの心配をしていることがきっかけで、免許返納について家族で話し合いを始めたいと思っています。子どもにもきちんと説明したいし、おじいちゃんと一緒に車の運転について考える機会を持ちたいと思っていますので、手助けになる情報がほしいと思っています。
それと、話し合いの結果、もし免許の返納することになったとして、おじいちゃんが楽しく、不自由なく暮らせるための手立てがないでしょうか。



Eちゃん

6歳小学生とお母さん
亀岡市本梅町在住

講座のながれ



(※1) 協働調査：立場や活動背景の違うもの同士が、互いの得意を出し合い、多角的な視点で調べること。